品番 **SJ-MR270**
SJ-MR240

ポータブルＭＤレコーダー
Portable MD Recorder
取扱説明書
Operating Instructions

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■ご使用の前に「安全上のご注意」(4〜5ページ)を必ずお読みください。

■本書のイラストは SJ-MR270 です。

SJ-MR270

ご使用の際は、必ず本機とBeatJamのユーザー登録をお願いいたします。
(⇨ 25ページ「ユーザー登録のお願い」)

SJ-MR270

MDLP

保証書付き　上手に使って上手に節電

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT7177-S
F1203YH0

目次

準備しよう

録音してみよう

再生してみよう

編集してみよう

SJ-MR270 パソコンと接続して使う

ご参考に

MDLP 長時間録音、再生

MDLP [LP2 (2倍)、LP4 (4倍)]録音と再生ができ、
モノラルモードで録音された曲も、
自動的に判別して再生します。
(ただし、モノラル録音はできません。)

高音質録音機能

通常ステレオ録音では、“HDES”
(High Density Encoding System)がはたらき、
高音質での録音が可能です。

光る液晶付きリモコンでの録音が可能

表示パネルが、操作時約5秒間、
スクロール中は最大約20秒間明るくなります。
消灯時は[■DISP.MENU]を押すと、点灯します。
本体だけでなく、リモコンからも簡単な操作で録音できます。

マイク録音

会議、講義、語学学習、野外での録音などに有用です。
(SJ-MR270 別売り品をお求めください。⇨ 9ページ)

Net MD対応 (SJ-MR270)

パソコン上の音楽データをMDに転送できます。
パソコンを使ってMDの再生・編集ができます。

USB オーディオ対応 (SJ-MR270)

パソコン上の音楽データを、
本機を通して楽しむことができます。

リジューム機能

前回停止したところから再生します。
ふたの開閉、電池の交換をしたり、
録音、編集すると解除されます。

付属品の確認

☐ **ステレオインサイドホン**
(L0BAB0000177)

☐ **ジョイント式リモコン**
SJ-MR270
(RFEV046PZSH)
SJ-MR240
(RFEV045PZSH)

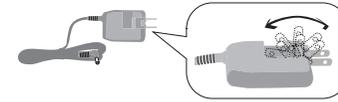
☐ **ニッケル水素充電式電池**※
ケース(RFC0076-K)から
取り出してください。

☐ **乾電池ケース**
(RFA1537-S3)

☐ **キャリングケース**
(RFC0079-C)

ケース内の仕切りで本体と付属品を分けて入れてください。

SJ-MR240
☐ **ステレオマイク**
(L0CBBF000002)

☐ **ACアダプター(マルチクレードル/バッテリーチャージャー専用)**
プラグの位置は調節可能です。
SJ-MR270
(VSK0647)
SJ-MR240
(DE-967AA)

☐ SJ-MR270
マルチクレードル
(RFE0134A)
SJ-MR240
バッテリーチャージャー
(RFE0135A)

SJ-MR270
☐ **スピーカー** (RFKAJMR250-S)

☐ **USBケーブル**
(K2KZ4CB00004)

☐ **Net MD用ソフトウェア**
- **CD-ROM**
- **ユーザー登録シート**
- **BeatJam 取扱説明書**

■ 買い替えはかっこ内の品番で、お買い上げの販売店にご注文ください。
※ 充電式電池は、別売り品(HHF-AZ01S/1B)をお買い求めください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

充電式電池は、付属のマルチクレードルまたはバッテリーチャージャー、ACアダプターを使って充電する

- 指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

充電式電池の⊕と⊖をショートさせない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属のケースに入れてください。
- 電池には安全のためにビニールのチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプターのコード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- 抜くときは、ACアダプター本体を持ちまっすぐ抜いてください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

ぬれ手禁止

雷が鳴ったら、機器やACアダプターのプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

接触禁止

警告

コンセントやACアダプターに記載の定格を超える使い方をしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

分解・改造しない

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

分解禁止

乗り物を運転中は、使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

乾電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
（乾電池入りの乾電池ケースも同様です。）
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

インサイドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

インサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

付属のACアダプターを使う

- 指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になります。

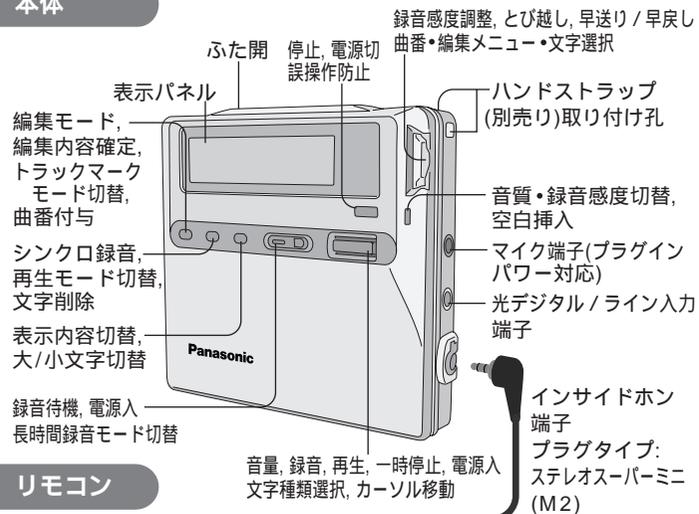
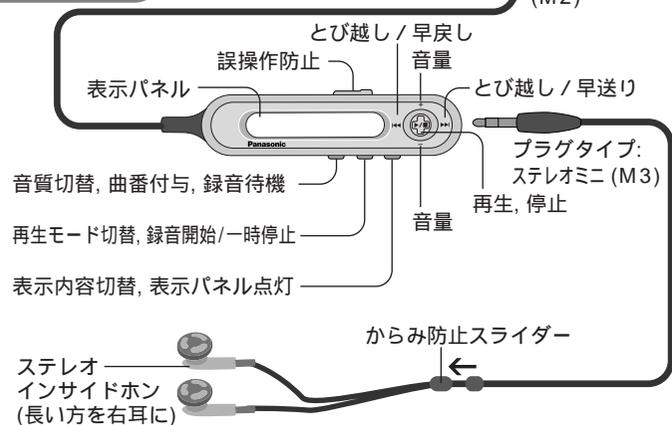
マルチクレードルに付属以外のスピーカーを接続したり、接触端子に触れたり、内部に異物を入れたり、使用中に布などで覆わない

- 機器が故障したり、熱がこもって火災や感電の原因になることがあります。

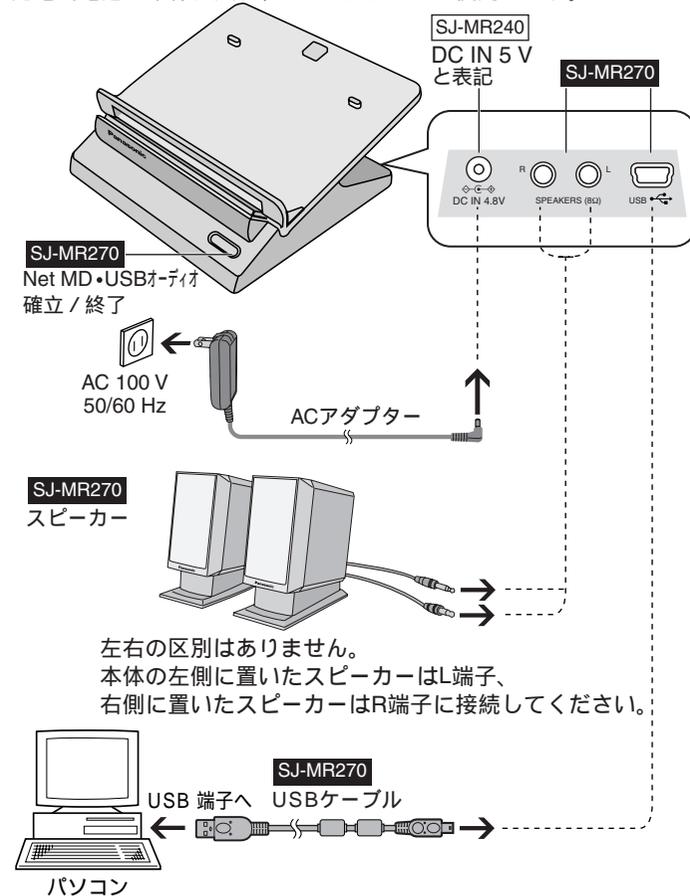
付属のスピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しくはたらかなくなることがあります。

各部の名称/接続

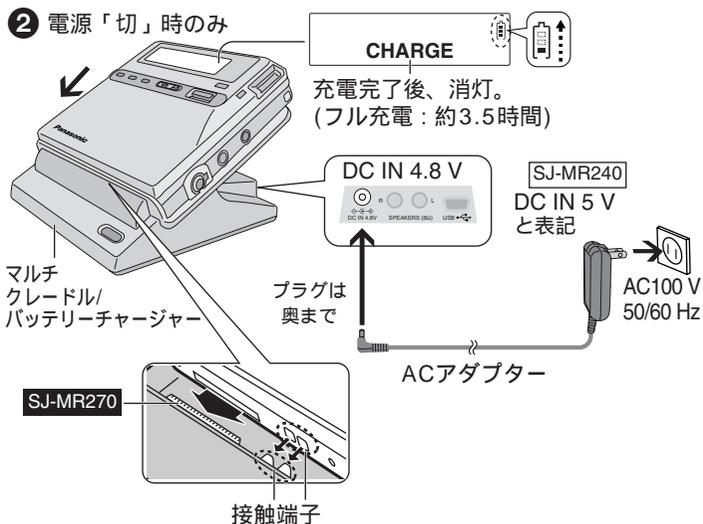
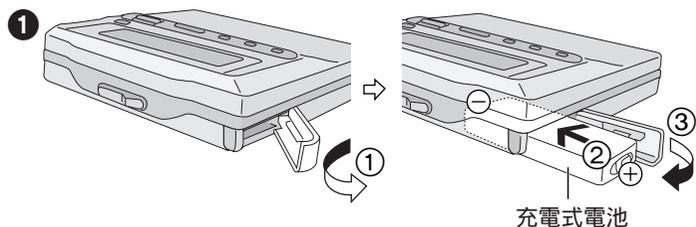
本体

マルチクレードル/バッテリーチャージャー

充電式電池を本体に入れ、ACアダプターで使用します。

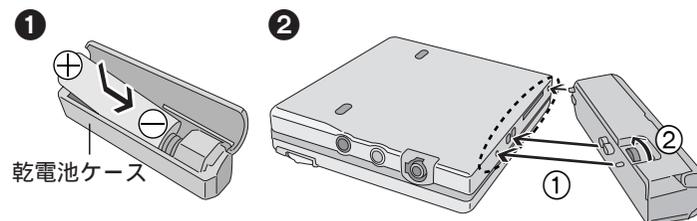
- 左右の区別はありません。
  本体の左側に置いたスピーカーはL端子、
  右側に置いたスピーカーはR端子に接続してください。

電源の準備

充電式電池　購入直後もまず充電!

❶

❷ 電源「切」時のみ

- SJ-MR270 “Net MD” 表示中、充電できません。(⇨ 26～28ページ)
- 電池残量を使い切らなくても継ぎ足し充電が可能です。
- 長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜くことをおすすめします。本体を置いていない状態でも約0.1 Wの電力を消費します。

乾電池　（別売り：単3形アルカリ）

❶ ❷

- 充電式電池との併用で長時間使用できます。(⇨ 36ページ「主な仕様」)

電池残量表示

本体、リモコン両方に表示されます。

点滅後、しばらくすると電源が切れます

電池交換すると、設定は元に戻ります。 音量：12、　操作確認音：入、　本体ホールド：OFF 音質：NORMAL、再生モード：通常、録音モード：通常ステレオ 表示：漢字/全角、表示の濃淡：16 (本体)、10 (リモコン)

ACアダプター

充電式電池を入れた本体をマルチクレードル／バッテリーチャージャーに取り付け、ACアダプターを接続する。(⇨左記❷)

- SJ-MR270 ACアダプターは、AC100 V～240 Vの電源に使用できますので、変換プラグをご用意いただくと、海外で使用できます。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：

- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、(社) 電池工業会へご確認ください。(ホームページ：http://www.baj.or.jp)

Ni-MH
ニッケル水素電池使用

ディスクの出し入れ

❶ OPEN

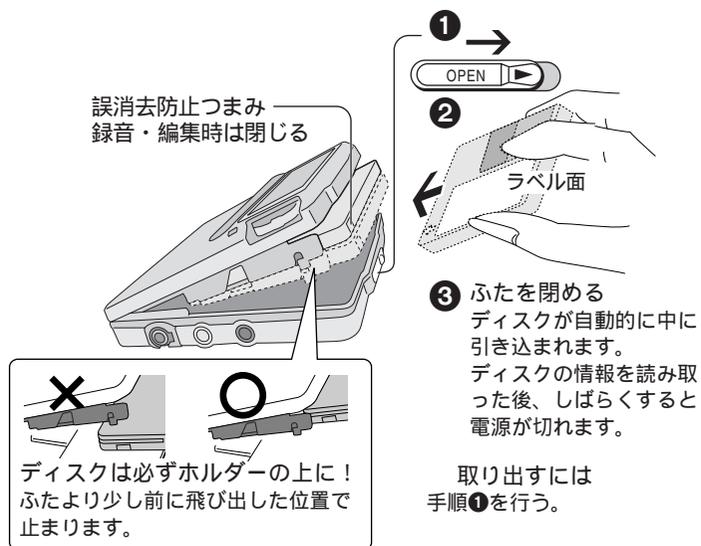
❷

ラベル面

ディスクは必ずホルダーの上に！
ふたより少し前に飛び出した位置で止まります。

❸ **ふたを閉める**
ディスクが自動的に中に引き込まれます。
ディスクの情報を読み取った後、しばらくすると電源が切れます。

■ 取り出すには

手順❶を行う。

ホールド機能

•本体をホールドにしてもリモコン操作できます。
リモコンをホールドにしても本体操作できます。

ボタン操作を受け付けません。
勝手に電源が入ったり、使用中に、録音・再生などの操作が中断することを防止します。

本体

準備：電源「切」時、[▶/❚❚]を押した後、[■, OPR OFF/ ➖ HOLD]を押し、 **停止中** にする。
(録音・再生中、この操作は不要です。)

“HOLD ON”が出るまで押し続ける

OPR OFF/-HOLD [■]

● 停止中、ホールドにすると、約１分後、自動的に電源が切れます。

■ 解除する

準備：電源「切」時、[▶/❚❚]を押す。
“HOLD” 表示になります。
(録音・再生中、この操作は不要です。)

“HOLD”表示中、または録音・再生中、“HOLD OFF”が出るまで押し続ける

OPR OFF/-HOLD [■]

リモコン

■ 解除する

録音する機器と接続する

- 接続前に本機の電源を切り、接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 接続コードは別売りです。品番は2003年9月現在のものです。変更されることがあります。

音響機器と接続 ●録音元のイラストは代表例です。音声出力端子の形状を確認し、接続してください。

デジタル接続 CDなどのデジタル信号をそのままデジタル信号で録音します。ただし、録音回数に制限があります。(➪ 下記)

- 本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーなどサンプリング周波数の異なるデジタル機器に接続しても、自動的に本機の周波数に変換して、録音できます。

■ 録音回数の制限

(SCMS : シリアル・コピー・マネージメント・システム)

CDなどからMDにデジタル接続して録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音ができます。そこで著作権保護のため、このMDからさらに別のMDへデジタル接続して録音できません。アナログ接続すればMDから別のMDへ録音できます。DVD Audioには、デジタル接続時、一回も録音できないものがあります。

アナログ接続 ラジオやテープなどのアナログ信号を、デジタル信号に変換して録音したり、CDなどのデジタル信号を一度アナログ信号に変換した後、デジタル信号に変換して録音します。録音回数に制限はありませんので、録音済のMDから別のMDに録音する場合に使います。

- ヘッドホン出力端子に接続時
  - 録音元の音量を適切に調整してください。
  - プラグアダプター(別売り品)が必要な場合があります。

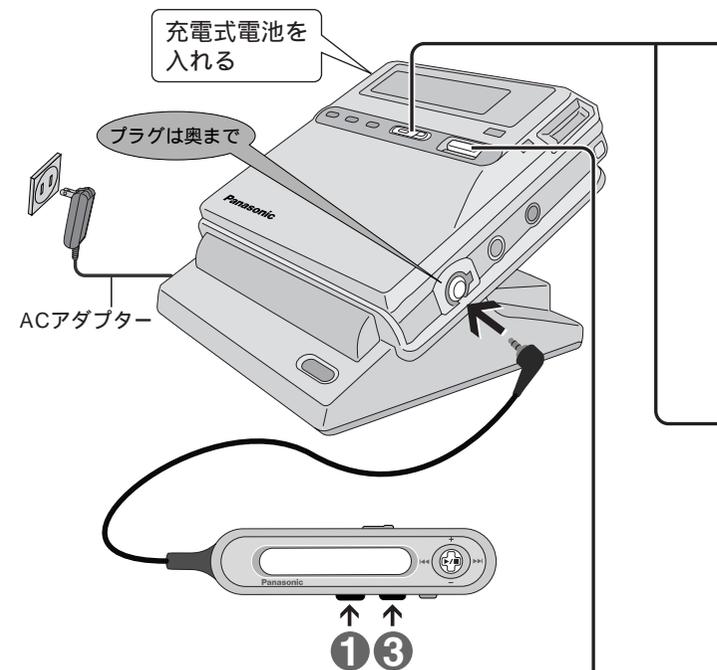
ヘッドホンステレオ、ラジカセ、ラジオ、テレビなど

マイクと接続 ●他機器を同時に接続しないでください。

会議、講演や野外で音楽などを録音する

- SJ-MR270 別売り品(RP-VC200、またはRP-VC300)をお求めください。
- 本機の動作音が録音されないように、マイクを本機から離してください。

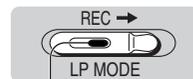
録音する

● 録音用MDを入れ、ホールドを解除する。(➪ 8ページ)
● 録音する機器と接続する。(➪ 9ページ)

● ステレオインサイドホンで、録音中の音を聞くことができます。
● SJ-MR270 : マイク録音以外は、スピーカーでも録音中の音を聞くことができます。

■ **録音を失敗しないために**
● 電池切れ防止のため、ACアダプターでお使いになることをおすすめします。電池で使う場合は、充電式電池と乾電池を併用してください。(➪ 7ページ)
● 録音待機や録音中、ふたは開きません。停止後、開けてください。
● 録音終了時の " UTOC Writing " 表示中も含め、録音中に振動を与えないでください。

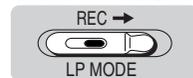
❶ 録音待機状態にする

本体	リモコン (表示)	本体表示
右にスライドする	**表示が出るまで押し続ける**	例）デジタル接続時

REC ➞
LP MODE
赤色点滅

アナログ: " ANALOG "
マイク: " MIC "

■ **次の設定ができます。**(録音するたびに設定してください。)
● シンクロ録音/1曲シンクロ録音(➪ 11ページ)
● 曲番の付けかた(➪ 12ページ)
● 録音感度の調整(➪ 12ページ)

❷ 録音モードを選ぶ (本体のみ)

本体	本体表示
右にスライドするたびに	

LP2 (2倍)→ LP4 (4倍)→ 表示なし(通常ステレオ録音)

● LP2, LP4で録音した内容は、 MDLP 未対応機器では再生できません ("LP:"と表示) 。通常ステレオ録音してください。

❸ 録音する

本体	リモコン (表示)	本体表示

押した後、接続した機器を再生するか、またはマイクを音源に近付ける

● [REC ➞, LP MODE]が点灯に変わり、前の録音部分の続きから録音します。
● シンクロ録音、1曲シンクロ録音時は、[▶/II] (本体)または[PLAYMODE, REC PAUSE] (リモコン)を押す必要がありません。

一時停止

本体	リモコン	本体表示
押す	**押す**	曲番が1つ増えます。

- [REC ➞, LP MODE]が赤色点滅します。
- もう一度押すと、録音再開します。
- シンクロ録音、1曲シンクロ録音時は、操作できません。

停止➟電源「切」

本体	リモコン	本体表示
押す	**押す**	

情報書き込み中

- “UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]が点滅消灯後、録音が完了します。
- 約1分後、自動的に電源が切れます。
- 録音完了後に押しても、電源が切れます。(本体のみ)

ディスクの録音残り時間を確かめる

本体	リモコン	本体表示
押すたびに	**録音待機または録音中、押し続けるたびに**	

録音残り時間
(録音モードに応じて表示)

⇕

録音経過時間

シンクロ録音 / 1曲シンクロ録音

マイク録音時は設定できません。
録音感度を手動で調整する場合 (➪ 12ページ) は、下記設定の前に行ってください。

■ シンクロ録音 (SYNC)

録音元に合わせて、自動的に録音を開始/一時停止します。
(無音状態がデジタル接続時で約7秒、アナログ接続時で約2秒続いた時、一時停止します。)

■ 1曲シンクロ録音 (SYNC1) [デジタル接続 のみ]

CDの曲番1だけをシンクロ録音し、終わると自動的に一時停止します。
CDを交換し、曲番1を再生すると、録音が自動的に始まります。

本体	リモコン	本体表示
録音待機中、押すたびに	**操作できません**	

MODE
DELETE

SYNC ———→ **SYNC1** ———→ 表示なし(通常)
デジタル接続 のみ

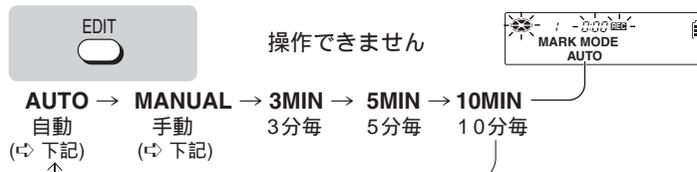
“SYNC”に設定するとCS/BS放送、FM放送など、音声信号が常に出ている場合、自動的に録音が始まるのでご注意ください。

録音する（つづき）

曲番の付けかた

録音時に記録される区切り(トラックマーク)により1つの曲番になります。曲番の付けかたは、選ぶことができます。

本体	リモコン	本体表示
録音待機中、押すたびに EDIT	**操作できません**	MARK MODE AUTO

AUTO → MANUAL → 3MIN → 5MIN → 10MIN
自動　手動　3分毎　5分毎　10分毎
(➪ 下記)　(➪ 下記)

● マイク録音時、“ AUTO ” は選べません。

■ 自動的に曲番が付く (AUTO)

● CDやMDからデジタル接続
➠CDやMDの曲番通り。

● アナログ接続、またはCDやMD以外とのデジタル接続
➠2秒以上無音が続く時。

曲により、正しく記録されない場合があります。
録音終了後、編集し位置を訂正してください。(➪ 18〜19ページ)

■ 手動で曲番を付ける (MANUAL)

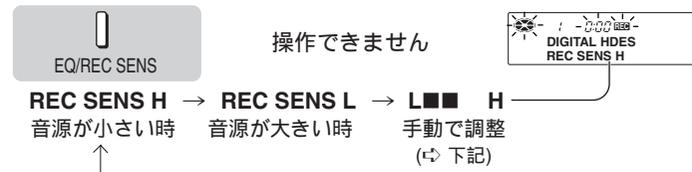
本体	リモコン
録音中、曲番を付けたいところで押す	

● “MANUAL”以外を選んでも、この操作で曲番を付けることができます。

録音感度の調整

録音中、適切な感度に自動設定されていますが、必要に応じて手動で調整できます。

本体	リモコン	本体表示
録音待機中、押すたびに EQ/REC SENS	**操作できません**	DIGITAL HDES REC SENS H

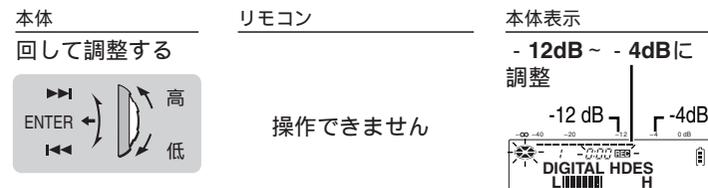
REC SENS H → REC SENS L → L■■ H
音源が小さい時　音源が大きい時　手動で調整
(➪ 下記)

● デジタル接続時は、REC SENS L から順に変わります。

● 録音状況に合った録音感度

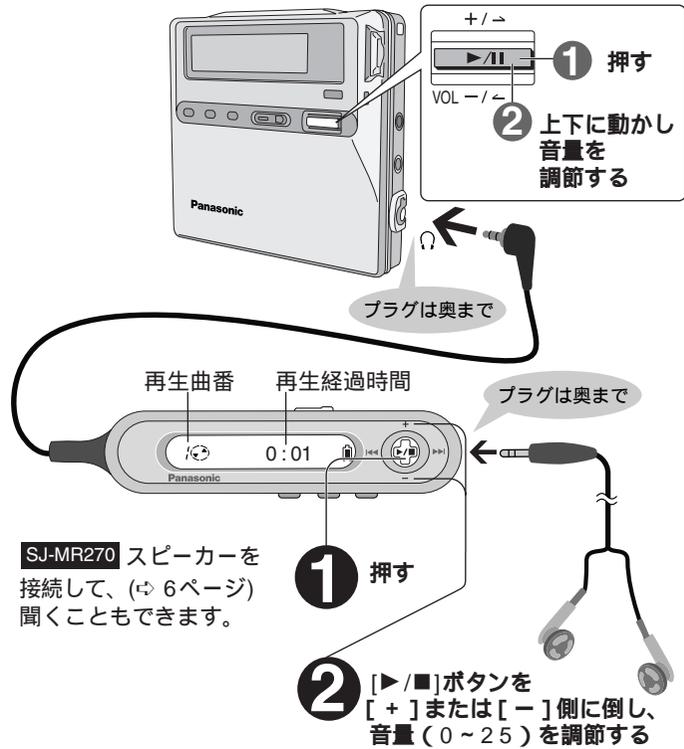
REC SENS H : CSチューナーとのデジタル接続時
会議などのマイク録音時
REC SENS L : ステレオ機器とのアナログ接続時
ライブなどの大音量のマイク録音時

■ 手動で調整する

接続した機器を再生、またはマイクを音源に近付けた後、L■■ Hを選んで、

本体	リモコン	本体表示
回して調整する ENTER 高 低	**操作できません**	**−12dB〜−4dBに調整** -12 dB -4dB DIGITAL HDES L H

● デジタル接続時は、録音感度の調整中、聞こえる音の大きさは変化しません。

再生する

●録音済みのMDを入れ、ホールドを解除する。(⇨ 8ページ)

● SJ-MR270 スピーカーを接続して、(⇨ 6ページ)聞くこともできます。

一時停止

リモコン	本体	リモコン表示
操作できません	**押す** (もう一度押すと再生再開します。)	PAUSE 数秒後、再生経過時間に変わります。

早送り・早戻し(サーチ)

リモコン	本体
再生中、倒し続ける	**再生中、押しながら回す**

とび越し(スキップ)

リモコン

ポンと倒す

●再生中、前曲に戻るには2回続けて倒してください。([|◀◀])

本体

❶ 再生中、回す

6 Song 1

選んだ曲番と曲名

❷ 5秒以内に、押す

Jazz Song 1

ディスク名

●停止中でも操作できますが、本体表示が上記とは少し異なります。

停止➡電源「切」

リモコン	本体	リモコン表示
押す	**押す**	停止中

OPR OFF/-HOLD ■

6 1:21

曲番　再生経過時間

⇩

電源「切」

●約1分後、自動的に電源が切れます。
●停止中に押しても、電源が切れます。(本体のみ)

もっと使いこなす

繰り返して聞く（リピート再生）/順不同に聞く（ランダム再生）

リモコン
押すたびに

本体
押すたびに

リモコン表示

1曲繰り返し → 全曲繰り返し → **RANDOM** または **RND** (SJ-MR270 リモコン表示) 順不同に聞く → **表示なし** 通常再生

- ランダム中、再生し終わった曲へ、リモコンではスキップできません。
- 1曲リピート、ランダム中は、再生中の曲の中でサーチできます。

音質を変える

リモコン
押すたびに

本体
押すたびに

リモコン表示

XBS-1 → **XBS-2** → **TRAIN** → **NORMAL**

迫力ある重低音 / XBS-1を強調 / 音もれや聞き疲れを軽減 / 通常の音質

SJ-MR270

■ **マルチクレードル接続時**

XBS-SP ⟷ **NORMAL**

低音を強調 / 通常の音質

好みのグループから聞く（グループ再生）

グループ設定（⇨ 20ページ）したディスクは、グループ単位で再生できます。

リモコン

❶ **停止中、“ GRPON ” と表示するまで押す**

本体

操作できません

- SJ-MR240 : “ ∗GRPON ” と表示します。
- 本体では、“ ∗GROUP ON ” と表示し、“ GRP ” も点灯します。

❷ **好みのグループが表示するまで**

倒し続ける

押しながら回す

リモコン表示

❸ **押す**

押す

■ グループ再生を解除する

停止中、［PLAY MODE, REC PAUSE］（リモコン)を押し続けるたびに

GRPON(リモコン)/ ∗GROUP ON(本体) グループ再生 ⟷ **GRPOFF(リモコン)/ GROUP OFF(本体)** 解除

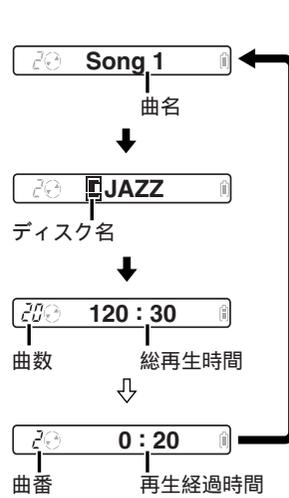
表示内容を切り替える

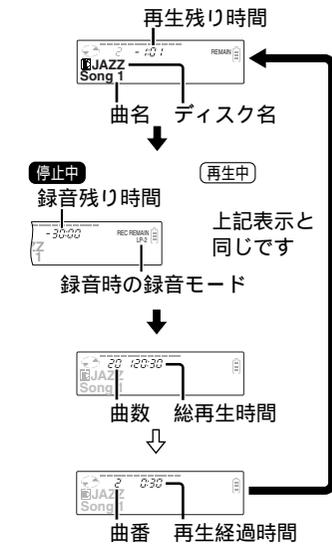
リモコン　押し続ける　本体　押す

➡：操作するたびに切り替わります。
⇨：数秒表示したあと切り替わります。

■ 通常再生時

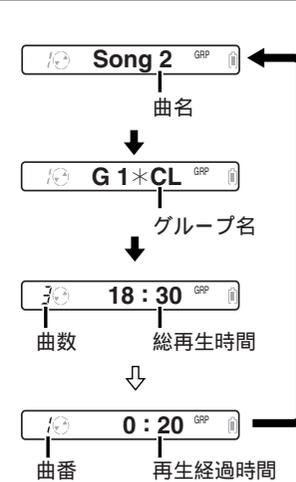
例：SJ-MR270

リモコン表示　本体表示

SJ-MR240

表示位置が上記とは異なります。

■ グループ再生時

例：SJ-MR270

総再生時間、曲数、曲番はグループ内のものです。

リモコン表示　本体表示

SJ-MR240

- "GRP"表示しません。
- 表示位置が上記とは異なります。
- グループ名の前または曲番の後に"∗"を表示します。

■ なまえが記録されていないディスクの表示

" –♪♪♪– " (リモコン)、" NO TITLE " (本体)を表示します。

その他の便利な機能 ●手順❷以降は、9秒以内に

リモコン操作確認音の入・切

リモコン	本体	リモコン表示
❶ 停止中、"MENU"が表示するまで数回押し続ける	数回押す	

または、BeepOFF

❷ 倒すたびに　　倒すたびに

❸ 表示が変わるまで押し続ける　　押す

表示パネルの濃淡(コントラスト)の調整

リモコンの表示パネルは、リモコンで、
本体の表示パネルは、本体でそれぞれ調整できます。

リモコン	本体	リモコン表示
❶ 停止中、"MENU"が表示するまで数回押し続ける	数回押す	

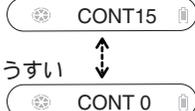
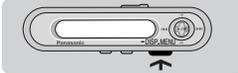
MENU
↓
BeepON

または、BeepOFF

❷ "CONT"が表示するまで数回倒す　　"CONTRAST" が表示するまで回す

CONT10

❸ 倒すたびに　　倒すたびに

CONTRAST29 (濃い)
↕
CONTRAST 0 (うすい)

❹ 表示が変わるまで押し続ける　　押す

2種類記録された曲名の表示

ＭＤには文字を記録できる2つの異なる領域(半角と全角)があります。本機ではどちらの領域の文字を表示するか、選ぶことができます。

- どちらか一方の領域にだけ文字を入力している場合、切り替えても入力した文字しか表示しません。

半角文字：カタカナ、英字、数字記号 (➪ 23ページ)

全角文字：**漢字、ひらがな**、カタカナ、英字、数字記号
(SJ-MR270 BeatJamで入力可能)

■ 漢字・ひらがな ↔ カタカナ(全角文字)に切り替える

リモコン　本体　リモコン表示

❶ 停止中、“ MENU ” が表示するまで
数回押し続ける　**数回押す**

または、BeepOFF

❷ “KANJI” または “KANA”が表示するまで数回倒す　**“TITLE KANJI”または“TITLE KANA”が表示するまで回す**

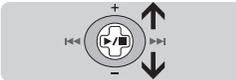
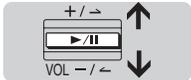
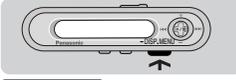
漢字・ひらがな

KANJI

または

カタカナ

KANA

❸ 倒すたびに　**倒すたびに**

❹ 表示が変わるまで押し続ける　**押す**

SJ-MR240 ：リモコンでは、漢字・ひらがな表示せず、カタカナ表示します。

■ 全角文字 ↔ 半角文字に切り替える (本体表示のみ切り替わります。)

リモコン　本体　リモコン表示

❶ 停止中、“ MENU ” が表示するまで
数回押し続ける　**数回押す**

または、BeepOFF

❷ “FULL S”または“HALF S”が表示するまで数回倒す　**“FULL SIZE” または“HALF SIZE”が表示するまで回す**

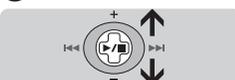
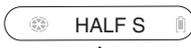
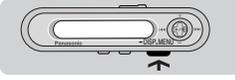
全角文字

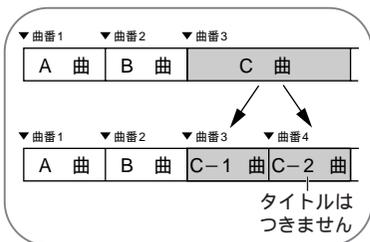
FULL S

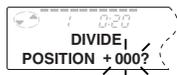
または

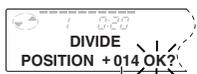
半角文字

HALF S

❸ 倒すたびに　**倒すたびに**

❹ 表示が変わるまで押し続ける　**押す**

編集する ●本体操作のみ

曲を分ける（ディバイド）

❶ **分ける曲の再生中に押す**

❷ **回して"DIVIDE?"を選び、押して確定する**

押した位置から約4秒くり返し再生します。

❸ **回して分ける位置を調整し、押して確定する**

－128～＋127

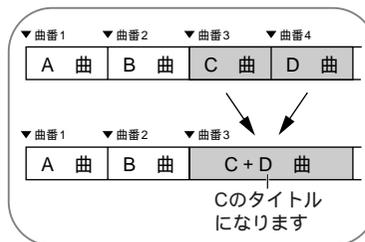
通常: 約8秒、モノラル／LP2: 約16秒、LP4: 約32秒前後を調整できます。

❹ **押す**

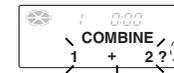
"UTOC Writing"消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ **途中で止める**

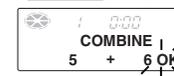
手順❹までに[■, OPR OFF/ ━ HOLD]を押す

曲をつなぐ（コンバイン）

● 異なる録音モードの曲はつなげることができません。

❶ **停止中、またはつなぐ後ろの曲の再生中に押す**

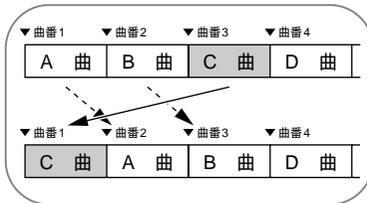
❷ **回して"COMBINE?"を選び、押して確定する**

再生中は、手順❸が不要になり、
つなぐ曲の前後約8秒ずつをくり返し、"OK?"が点滅します。

❸ **回してつなぐ2曲の曲番を選び、押して確定する（ 停止中 のみ）**

❹ **押す**

"UTOC Writing"消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ **途中で止める**

手順❹までに[■, OPR OFF/ ━ HOLD]を押す

曲を移動する（ムーブ）

❶ **停止中、または移動したいの曲の再生中に押す**

❷ **回して“MOVE?”を選び、押して確定する**

再生中は、手順❸が不要になり、移動先の曲番が点滅します。

❸ **回して移動する曲番を選び、押して確定する（ 停止中 のみ）**

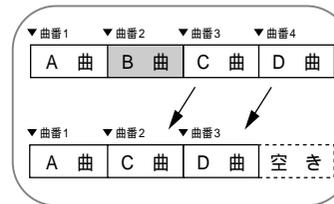
❹ **回して移動先の曲番を選び、押して確定する**

❺ **押す**

“UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ **途中で止める**
手順❺までに[■, OPR OFF/ ➡ HOLD]を押す

曲を消す

■ **1曲ずつ消す（トラックイレース）** ■ **全曲消す（オールイレース）**

❶ **押す（全曲消す場合は、 停止中 のみ）**

❷ **回して“TRACK ERASE?”または“ALL ERASE?”を選び、押して確定する**

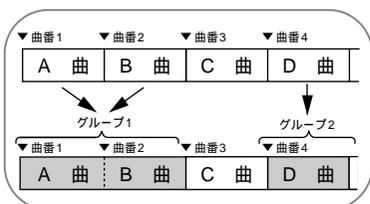
再生中の曲または全曲消す場合、手順❸は不要です。

❸ **回して消す曲番を選び、押して確定する**

❹ **押す**

UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。
● 全曲消すと、“ BLANK DISC ” と表示します。

■ **途中で止める**
手順❹までに[■, OPR OFF/ ➡ HOLD]を押す

連続した曲でグループをつくる（グループ）●最大99個

- グループ名をつけることができます。(➪ 手順❻)
- 1曲だけでもグループにできます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 連続していない曲をグループにすることはできません。
- グループの順番は、編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

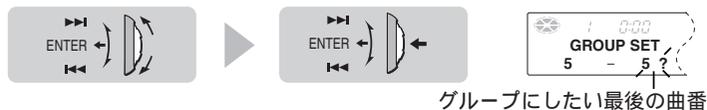
■ グループをつくる (グループセット)

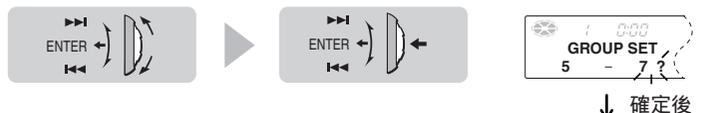
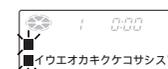
❶ 停止中に押す

❷ 回して“GROUP?”を選び、押して確定する

❸ 押して“SET?”を確定する

グループにしたい最初の曲番

❹ 回してグループにしたい最初の曲番を選び、押して確定する

グループにしたい最後の曲番

❺ 回してグループにしたい最後の曲番を選び、押して確定する

文字入力画面

❻ 文字を入力する(➪ 23ページ)

❼ 押す

“UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める

手順❼までに[■, OPR OFF/ ━ HOLD]を押す

■ グループ機能未対応機器での再生と編集

- ディスク名は正しく表示されません。
- DIVIDE, COMBINEなどの編集をすると、グループ管理情報が使えなくなることがあります。

■ グループ名を変更する (グループタイトル)

❶ **停止中に押す**

❷ **回して“GROUP?”を選び、押して確定する**

❸ **回して“TITLE?”を選び、押して確定する**

❹ **回してグループ名を変えるグループを選び、押して確定する**

❺ **文字を入力する**(➪ 23ページ)

❻ **押す**

“UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める

手順❻までに[■, OPR OFF/ ➡ HOLD]を押す

■ グループを解除する (グループリリース)

❶ **停止中に押す**

❷ **回して“GROUP?”を選び、押して確定する**

❸ **回して“RELEASE? ” を選び、押して確定する**

❹ **回して削除するグループを選び、押して確定する**

❺ **押す**

“ UTOC Writing ” 消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める

手順❺までに[■, OPR OFF/ ➡ HOLD]を押す

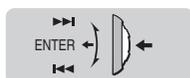
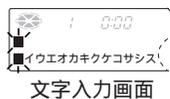
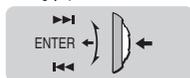
ＭＤになまえをつける ●本体操作のみ

録音済みＭＤにディスク名、曲名をつける

ディスク名、曲名とも、最大１００文字まで。
１枚のMDには最大１７９２文字まで。
入力できる文字数が減る例：
- LP2、LP4で録音された曲。(すでに“LP:”と記録されているため。)
- グループ設定の多いディスク。(グループ管理情報が記録されているため。)

❶ 停止中に押す

❷ 押す

❸

Ⓐ ディスク名をつける場合
押す

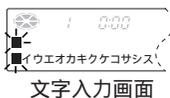
文字入力画面

Ⓑ 曲名をつける場合
回して曲番を選び、押して確定する

確定後

文字入力画面

❹ 文字を入力する(➪ ２３ページ)

❺ 押す

EDIT

“UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

- ディスク名入力後は、曲番選択画面(➪ 手順❸Ⓑ)になり、続けて曲名が入力できます。
- 曲名入力後は、次の曲名入力画面になり、くり返し曲名が入力できます。

■ 再生中、曲名をつける場合

[EDIT]を押した後、手順❷ (“TRACK TITLE”と表示)、❹、❺を行ってください。
- 曲名がつくまで、再生がくり返されます。

■ 途中で止める

手順❺までに[■, OPR OFF/ ━ HOLD]を押す

文字を入力する ●本体での入力は、すべて半角文字になります

20ページの手順❻、21ページ「グループ名を変更する」の手順❺または22ページの手順❹での入力は、以下の方法で行ってください。

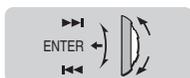
❶ 押して文字の種類を選ぶ

カタカナ → 英大文字 → 英小文字 → 数字記号

SJ-MR270 付属のBeatJamを用いると、漢字、ひらがな入力できます。

文字の種類	入力できる文字
カタカナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ゛゜ ァィゥェォャュョッー
英大文字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英小文字	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
数字記号	0123456789 ！”＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠＿｀

● 記号の／は、連続して入力できません。

❷ 回して文字を選び、押して確定する

文字確定後、
続けて入力できます。

■ 文字の入力を止める
[■, OPR OFF/ ⬬ HOLD]を押す

■ 文字を削除する

❶ 倒して削除する文字を選ぶ

❷ 押す

■ 文字を訂正する

❶ 倒して訂正する文字を選ぶ

❷ 文字を入力する(⇨ 左記)

■ 文字を追加する

❶ 倒して追加したい位置の右の文字を選ぶ

❷ 押して、空白をつくる

❸ 文字を入力する(⇨ 左記)

■ 大文字↔小文字
例：A⇔a、ツ⇔ッ

❶ 倒して変更する文字を選ぶ

❷ 押す

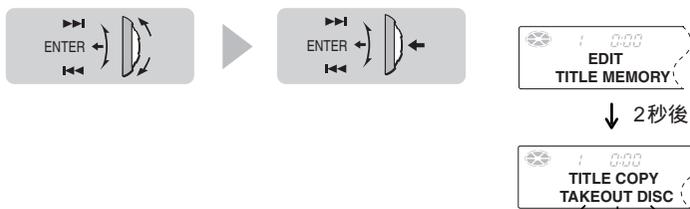
ＭＤになまえをつける（つづき）●本体操作のみ

他のＭＤになまえをコピーする（タイトルステーション）

- 録音用ＭＤで、曲数が同じときだけコピーできます。
  グループ設定の内容もコピーされます。
- LP2、LP4で録音された曲名を、通常ステレオ録音の曲にコピーすると、曲名の前に“ LP: ”が表示されます。
- ディスク名がすでに入っているＭＤにコピーすると、以前のディスク名は新しいものになります。

❶ **コピー元のＭＤを入れる**

❷ **停止中に押す**

❸ **回して“TITLE COPY?”を選び、押して確定する**

❹ **ＭＤを取り出す**

❺ **コピー先のＭＤを入れる**

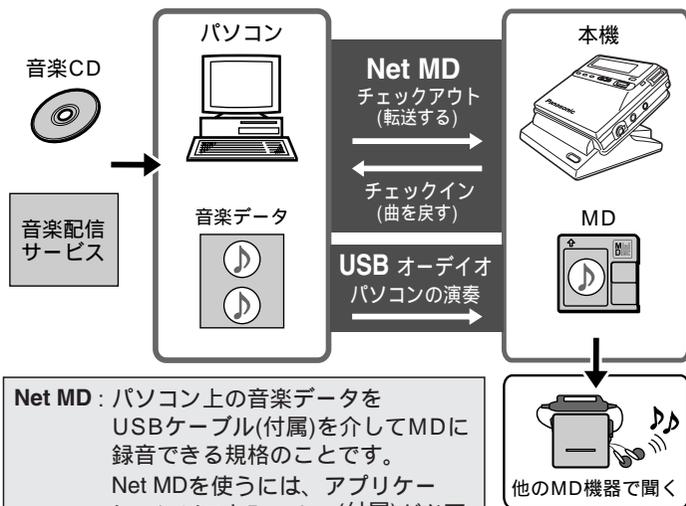
❻ **押す**

“UTOC Writing”消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める

手順❻までに[■, OPR OFF/ ━ HOLD]を押す

パソコンと接続して使う SJ-MR270

こんなことができます

Net MD : パソコン上の音楽データをUSBケーブル(付属)を介してMDに録音できる規格のことです。
Net MDを使うには、アプリケーションソフトBeatJam(付属)が必要です。著作権保護のため、
- 音楽CDから録音した曲のチェックアウトは3回まで。
- チェックインは、チェックアウトで使用したパソコンのみ有効です。

- BeatJamを操作することで、MDを再生・編集することもできます。

USB オーディオ : パソコン上の音楽データを本機を通して楽しむことができます。

BeatJamの使い方は別冊のBeatJamの取扱説明書をご覧ください。

■Net MDを使うために必要なシステム構成

別冊の「BeatJam」取扱説明書9ページをご覧ください。

■USB オーディオを使うために必要なシステム構成

- IBM PC/AT互換機のパソコンであること
- USBポートがあり、USB規格Ver.1.0に準拠していること
- 次のいずれかのOS（日本語版）がインストールされていること
  Windows 98 Second Edition (以下、「Windows 98 SE」)、
  Windows Millennium Edition (以下、「Windows Me」)、
  Windows 2000 Professional (以下、「Windows 2000」)、
  Windows XP Home Edition, Windows XP Professional (以下、「Windows XP」)
  以下の場合の動作は保証しません。
  - Windows 98、Windows 95、Windows NT
  - Windows 3.1/95/98からWindows 98 SE/Me/2000へのアップグレード
- 推奨CPUが、MMXテクノロジーPentiumプロセッサー(266 MHz)または同等性能以上

- Macintosh製のパソコンにはインストールできません。
- 推奨環境を満たしていても、そのすべてのパソコンの動作を保証するものではありません。

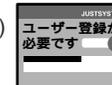
ユーザー登録のお願い

本機とBeatJamのバージョンアップなどのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずそれぞれのユーザー登録をお願いいたします。

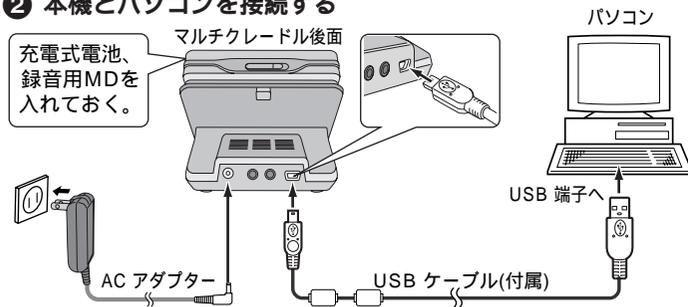
■ 本機

インターネットまたはハガキ (➪「ユーザー登録について」)で登録できます。登録に必要な製造番号は、本体背面の下部に記載しています。

■ BeatJam

インターネット(➪「BeatJam」取扱説明書13ページ)または付属のユーザー登録シートで登録できます。

セットアップする ●一度行えば次回からは必要ありません。

❶ 付属のCD-ROMを使用してBeatJamとNet MD USBドライバーをセットアップする (➪「BeatJam」取扱説明書10〜12ページ)

❷ 本機とパソコンを接続する

■ **パソコンや本機の電源「入」時、USBケーブルを抜き差しするときは**
5秒以上あけてください。

■ **動作保証できない場合**

●付属以外のUSBケーブルでの接続。
●USBハブ、またはUSB延長ケーブル経由での接続。
●USBポートが複数あるパソコンで、ルートハブ対応端子以外との接続。
●パソコンに2台以上のNet MDを接続。

❸ 停止中または電源「切」時に押す

●パソコン立ち上げ中、[USB ON/OFF]を再度押して、“Net MD”表示を消さないでください。

マルチクレードル

本体表示

●初めてパソコンと接続し、“Net MD”と表示させると、パソコンが本機を自動検出します。USBオーディオドライバー (パソコンのOSに添付)のセットアップ画面が表示します。指示に従ってセットアップしてください。

❹ BeatJamとNet MD USBドライバー、USB オーディオドライバーが正しくセットアップされたかを確認する

■BeatJam

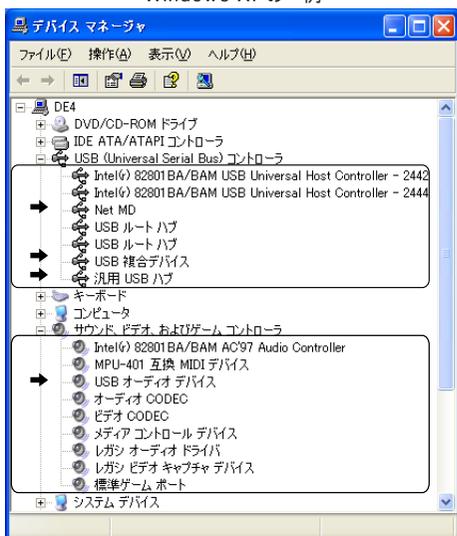
正しくセットアップされると、パソコンのデスクトップ上に**BeatJam、JSユーザー登録・確認**のアイコンが現れます。

■Net MD USBドライバー、USBオーディオドライバー

パソコンで下表の①〜⑤の順に操作し、⑤のⒶ、Ⓑの項目にそれぞれデバイスが認識されているか確認してください。

	Windows 98SE/ Windows Me	Windows 2000	Windows XP
①	**“スタート”**メニュー		
②	**“設定”→“コントロールパネル”**		**“コントロールパネル”→“パフォーマンスとメンテナンス”**
③	**“システム”**		
④	**“デバイスマネージャ”**	**“ハードウェア”→“デバイスマネージャ”**	
⑤	Ⓐ **“サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ”**に **“USB オーディオデバイス”**		
	Ⓑ**“ユニバーサル シリアル バス コントローラ”**に ●**“Net MD ”** ●**“USB 互換デバイス”** ●**“汎用 USB ハブ”**	**“USB (Universal Serial Bus) コントローラ”**に ●**“Net MD ”** ●**“USB 複合デバイス”** ●**“汎用 USB ハブ”**	

●画面のリスト内にある項目は、ご使用のパソコン環境に応じて異なる場合があります。(例 : Windows XP ➪ 27ページ)

Windows XPの一例

■ **デバイスマネージャ画面でNet MDに「!」がついている場合**

Net MDは正しく認識されていません。以下の操作を行ってください。

①「その他のデバイス」をダブルクリックし、その下の「!」がついた「不明なデバイス」を選び、削除する。
(Windows XPでは「!」がついたNet MDをダブルクリックし、Net MDのプロパティ画面のドライバタグを選んで、削除する。)

② 付属のCD-ROMを再びセットアップする。(➪ 26ページ、手順❶)
画面の指示に従って操作してください。

●Net MDに「?」がついている場合も同様に、上記手順①で「?Net MD」を選び、削除した後、手順②を行ってください。

■ **デバイスが認識されない場合**

●USBケーブルを抜き差ししてください。抜き差しは5秒以上あけてください。

●それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。

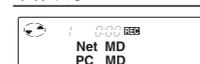
パソコンからMDに音楽を転送する（チェックアウト）

準備：26ページの手順❷、❸を行う。

❶ BeatJamを操作して、音楽データをMDに転送する(チェックアウト)

(➪「BeatJam」取扱説明書「音楽CDをMDに録音する」)

●チェックアウト中は、再生音が出ません。

本体表示

Net MD
PC→MD

●“UTOC Writing” 消灯、[REC ➞, LP MODE] 点滅消灯後、チェックアウトが完了します。
“ ” がBeatJamの画面上にないことを確認してください。

●好きな曲順に編集してMDに録音できるなど、いろいろな操作ができます。詳しくは、「BeatJam」取扱説明書をご覧ください。

❷ 押してNet MDを終了する

マルチクレードル

USB ON/OFF

本体表示

JAZZ
Song 1

●BeatJamは、パソコンで終了してください。

■ **“Net MD”表示中**

●**操作できるボタン（ただし、チェックアウト/チェックイン中をのぞく）**
- 音量ボタン

●**してはいけない行為**
- マルチクレードルから本体を外す
- USBケーブルを抜く
- 充電式電池やACアダプターを抜く
- MDを取り出す

上記を行う場合

[USB ON/OFF]を押して、Net MDを終了させてから行ってください。

ＭＤからパソコンに曲を戻す（チェックイン）

チェックアウト元のパソコンにのみ戻すことができます。
チェックインすると、ＭＤ内の曲は自動的に削除され、チェックアウト回数が1回増え、別のメディアにチェックアウトできます。

準備：２６ページの手順❷ (チェックアウトした曲が入ったMDを入れる)、❸を行う。

❶ MDの曲をパソコンに戻す (チェックイン)

(➪「BeatJam」取扱説明書
「パソコンに曲を戻す／チェックイン」)

本体表示

Net MD
PC←MD

●“UTOC Writing” 消灯、[REC ➞, LP MODE]点滅消灯後、チェックインが完了します。
“ ” がBeatJamの画面上にないことを確認してください。

●チェックアウトした曲を、ＭＤ側でERASE/DIVIDE/COMBINEするとチェックインできません。
●次の場合、チェックインするとＭＤ内の曲は削除され、パソコンに戻すこともできません。
- BeatJamで曲を削除する
- チェックアウト元以外のパソコンに曲を戻す

❷ Net MDを終了する

２７ページの手順❷を行ってください。

BeatJam を使ってＭＤを再生・編集する

２６ページの手順❷ (録音済みのMDを入れる)、❸を行った後、BeatJamを操作する。(➪「BeatJam」取扱説明書)

●再生中、[EQ/REC SENS](本体) または[T.MARK/EQ, ━ REC](リモコン)で音質切替ができます。
●BeatJam操作終了時は、２７ページの手順❷を行ってください。
編集完了時は、“UTOC Writing” 消灯、[REC ➞, LP MODE] 点滅消灯します。

パソコンからの演奏を聞く（USB オーディオ）

パソコン上の音楽データを本機のスピーカーまたはインサイドホンを通して楽しむことができます。

準備：２６ページの手順❷ (MDは不要です)、手順❸を行う。
(例：Windows XP)

❶ パソコンの[スタート]メニューをクリックし、[コントロールパネル※1]から[サウンドとオーディオデバイス※2]を選ぶ

[サウンドとオーディオデバイス※2のプロパティ]画面になります。

■ BeatJamを使って、音楽ＣＤや、ライブラリに登録された曲の再生先を切り替えるときは
停止中、「音の出力先切替ボタン」（➪「BeatJam」取扱説明書「画面について」）をクリックしてください。
●音楽CD再生中は、USBケーブルを抜かないでください。

❷ [オーディオ]タグをクリックする

❸ [音の再生]の[既定のデバイス]※3の右端の▼をクリックし、[USB Audio]※4を選ぶ

パソコンから出力すると、本機を通して音がでます。
音がでない場合、パソコン本体の音量または音楽ソフトの音量を調節してください。

※1Windows 98SE/Me/2000：[設定－コントロールパネル]

※2Windows Me/2000：[サウンドとマルチメディア]
Windows 98SE：[マルチメディア]

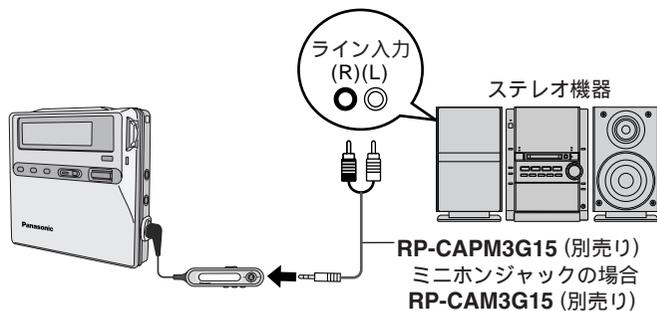
※3Windows 2000：[音の再生]の[優先するデバイス]
Windows Me/98SE：[再生]の[優先するデバイス]

※4Windows 98SE/Me/2000：[ＵＳＢ オーディオデバイス]

他機器と接続して使う

- 接続前に本機の電源を切り、接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 品番は2003年9月現在のものです。変更されることがあります。
- リモコン操作時、確認音が気になるときは切ってください。(➪ 16ページ)

ステレオ機器と接続する

本機の再生音を、ステレオ機器で聞いたり、録音することができます。

- 本機の音量を20～23に、音質はNORMAL(➪ 14ページ)に設定してください。

外部スピーカーを接続する

■ **その他の別売り品の紹介**

- ステレオインサイドホン：RP-HJ535, RP-HJ337
- ヘッドホン：RP-HT870

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問合せ先：
（社）私的録音補償金管理協会 ☎ 03－5353－0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03)3481-2121	静岡支部	☎ (054)254-2621
北海道支部	☎ (011)221-5088	中部支部	☎ (052)583-7590
盛岡支部	☎ (019)652-3201	北陸支部	☎ (076)221-3602
仙台支部	☎ (022)264-2266	京都支部	☎ (075)251-0134
長野支部	☎ (026)225-7111	大阪支部	☎ (06)6244-0351
大宮支部	☎ (048)643-5461	神戸支部	☎ (078)322-0561
上野支部	☎ (03)3832-1033	中国支部	☎ (082)249-6362
東京支部	☎ (03)3562-4455	四国支部	☎ (087)821-9191
西東京支部	☎ (03)3232-8301	九州支部	☎ (092)441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03)5286-1671	鹿児島支部	☎ (099)224-6211
立川支部	☎ (042)529-1500	那覇支部	☎ (098)863-1228
横浜支部	☎ (045)662-6551		

ＭＤのシステム上の制約

ＭＤの録音方式には、いくつかの制約があるため、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。

症状	このような制約が
最大録音時間に満たないのに、"UTOC FULL"が表示される。	２５４曲録音されると、それ以上の録音はできません。
曲数も録音時間も余裕があるのに、"DISC FULL"が表示される。	● 録音、編集をくり返したＭＤでこのようなことが起こります。 ● ＭＤに傷がある場合、録音できなくなることがあります。
曲をつないだり、分けたりできない場合がある。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
曲を消しても録音残り時間が増えない。	録音残り時間表示では、以下の曲を無視します。このため短い曲を何曲消しても録音残り時間が増えないことがあります。 通常ステレオ録音 :１２秒以下 モノラル、LP2録音 :２４秒以下 LP4録音 :４８秒以下
録音時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間にならない。	2秒以下の音声を通常ステレオ録音するにも、約2秒分のディスク領域を使うため、実際に録音時間が少なくなることがあります。 (LP2録音:4秒、LP4録音:8秒)

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
録音済みＭＤに上書き録音したい。	上書き録音はできません。録音残り時間が少ない場合は不要な曲を消してから録音してください。(➪ １９ページ)
録音済みＭＤの続きに録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。
録音中に、音量を変えたらどうなる？	録音される音には影響しません。
録音元の機器からの出力が小さいのですが？	推奨の接続コードをお使いください。(➪ ９ページ)
ステレオ／モノラル／ＭＤＬＰ再生はどう切り替える？	自動的に切り替わります。
LP2／LP4録音されたＭＤはどの機種でも再生できる？	ＭＤLP 未対応機器では再生できません。曲名の頭に"ＬＰ:"と表示され無音状態になります。
スピーカーにL(左)、R(右)の表示が無いのですが？ SJ-MR270	区別はありません。左に置いたほうをL端子に、右に置いたほうをR端子に、接続してください。
漢字とひらがなは入力できる？	SJ-MR240 ：できません。 SJ-MR270 ：付属のアプリケーションソフトBeatJamを使用してできます。
パソコンから録音するとき、LP2／LP4録音はできる？ SJ-MR270	設定できます。 (➪ BeatJam取扱説明書１６～１７ページ)

こんな表示が出たら ●[　　]内は、リモコン表示です。

表示	内容
BLANK DISC [BLANK]	ディスクに1曲も録音されていません。
Can't COMBINE	MDのシステム上の制約でつなげません。
Can't COPY (SCMS)	デジタル接続で録音したMDからのコピーはできません。アナログ接続では可能です。(⇨ 9ページ)
Can't DIVIDE	MDのシステム上の制約で分けられません。
Can't EDIT [ERROR]	グループ編集またはMDのなまえのコピーの操作が間違っています。(⇨ 20〜21、24ページ)
Can't EDIT PLAYBACK DISC [ERROR]	再生専用MDを編集しようとしました。
Can't REC PLAYBACK DISC [ERROR]	再生専用MDに録音しようとしました。
DIGITAL IN UNLOCK	デジタル(光)入力端子につながずに録音しようとした。
	接続機器の電源が入っていない、または電源が入っていても、音飛び機能を切っていません。
Can't REC DISC FULL [FULL]	MDの録音残り時間がありません。
Can't REC DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。(⇨ 8ページ) 編集時は、Can't EDIT DISC PROTECTEDと表示します。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。 MDを入れ直してください。
F17	磁気ヘッドの異常です。販売店にご相談ください。
F17 LOW TEMP F17 HIGH TEMP	0°C〜50°Cの環境で使用していません。
GROUP DATA FULL	グループをつくったり、曲を分けたり、移動させたりできません。グループ名を削除するか、グループを解除してください。(⇨ 21ページ)
HOLD	ホールド状態です。(⇨ 8ページ)
NO BATTERY	充電式電池を入れずに、マルチクレードル (SJ-MR270) /バッテリーチャージャー (SJ-MR240)に本体を置いています。
NO DISC [NoDISC]	MDが入っていません。
NO GROUP [NO GRP]	グループ設定されていないMDが入っています。
SYSTEM ERROR [ERROR]	自己診断により、故障と判断しました。 販売店にご相談ください。
TITLE FULL [ERROR]	入力できる最大文字数(1792文字)を超えています。
TITLE OVER [ERROR]	101文字以上のタイトルを編集しようとしています。 編集を続けると、101文字以降は自動的に削除されます。
TOC ERROR [ERROR]	MDに異常があるか、損傷しています。
TOC Reading [T-READ]	MDの情報を読み込んでいます。
TrackNO NOT SAME	コピー元とコピー先MDの曲数が異なると、タイトルコピーはできません。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。 編集していいか確認の後、操作してください。
	パソコンからチェックアウトした曲です。 編集すると、チェックインできなくなります。
U01 LOW BATTERY	電池残量がありません。
UTOC FULL [FULL]	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。
	最大録音曲数(254曲)入っているMDで録音、または曲を分けようとしました。
UTOC Writing [WRITE]	MDに情報を書き込んでいます。

故障かな!?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 充電について

症状	処置
充電できない	●ACアダプターを正しく接続していますか。一度、抜き差ししてみてください。 ●本体とマルチクレードル(SJ-MR270)／バッテリーチャージャー(SJ-MR240)との接触端子（⇨ 7ページ）が汚れているかもしれません。クリーニングブラシ (推奨品：RFE0115)でのお手入れをおすすめします。
充電しても録音／再生時間が短い	●初めての充電や長期間未使用後の充電では、短いことがあります。何回か使うと、通常に戻ります。
充電中、ACアダプターが熱い	●多少熱くなりますが、異常ではありません。

■ 一般操作について

症状	処置
操作できない 再生できない	●ホールドになっていませんか。（⇨ 8ページ） ●電池が消耗していませんか。（充電しても録音／再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。充電回数は約300回。） ●露がついていませんか。(約1時間待ってから使用する。) ●レンズが汚れているかもしれません。2種類のクリーナーでお手入れしてください。 •MDレンズクリーナー (別売り：RP-CL310) •MDヘッドクリーナー (別売り：RP-CL320)
スピーカーから音が聞こえない SJ-MR270	●充電式電池を入れた本体をマルチクレードルに取り付け、ACアダプターを接続していますか。（⇨ 6〜7ページ） ●マイク録音時は、音がでません。
マルチクレードル(SJ-MR270)/バッテリーチャージャー(SJ-MR240)に本体を取り付けても動かない	●本体に充電済みの充電式電池を入れ、ACアダプターを接続していますか。（⇨ 7ページ） ●正しく取り付けていますか。 ●本体とマルチクレードル／バッテリーチャージャーとの接触端子（⇨ 7ページ）が汚れているかもしれません。クリーニングブラシ (推奨品：RFE0115)でのお手入れをおすすめします。

■ 録音について

症状	処置
録音できない	●再生専用ディスクが入っている。 ●誤消去防止つまみが開いている。(⇨ 8ページ) ●他の機器と正しく接続する。（⇨ 9ページ） ●ポータブルCDのデジタル接続による録音では、ACアダプター接続時のみ録音可能な機種があります。ポータブルCDの電源をACアダプターに変更してください。
CD全曲を録音できない	●録音モードを調整する。（⇨ 10ページ） ●MDの録音残り時間を確かめる。（⇨ 11ページ）
録音中、瞬間的なノイズが発生する	●LP4録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに発生することがあります。通常ステレオ録音またはLP2録音してください。
シンクロ録音中、曲頭が切れて録音される	●曲により起こることがあります。シンクロ録音設定を解除し、通常ステレオ録音（⇨ 10〜11ページ）してください。
1曲シンクロ録音できない	●曲番 “1” でのみ録音可能です。それ以外の曲番のものはできません。
マイク録音時、ピーと音がなる	●ステレオインサイドホンとマイクを離す。 ●本体の音量を下げる。

■ 再生について

症状	処置
1曲目から再生できない	●ランダム再生になっていませんか。（⇨ 14ページ） ●リジューム機能がはたらいていませんか。(⇨ 3ページ) ●グループ再生になっていませんか。（グループ再生を解除してください。⇨ 14ページ）
音が聞こえない 音が聞こえにくい 雑音がする	●インサイドホン、リモコンのプラグは奥まで入っていますか。 ●プラグが汚れていませんか。 ●携帯電話を近づけていませんか。
録音したMDを再生すると、音が小さい	●他機器とヘッドホン出力端子で接続している場合は、接続した機器で音量を調整して録音してください。 ●録音感度が低かった。(⇨ 12ページ)

■ 再生について

リピート、ランダム、グループ再生が解除されている	●ふたの開閉、電池交換をしたり、録音、編集すると通常再生になります。 ● SJ-MR270 パソコンと接続して使うと、通常再生になります。

■ 編集について

ディスク名、曲名が途切れたり、表示しない	●ディスクに記録できる文字数を超えていませんか。(文字数の少ないなまえに付け直してください。➪ 22〜23ページ) ●グループ機能未対応機器で入力しませんでしたか。(本機で入力し直してください。➪ 22〜23ページ)

■ Net MDについて (SJ-MR270)

パソコンに接続しても動作しない パソコンに"外部機器・メディアが接続されていません"とエラーメッセージがでる	●USBケーブルが正しく接続されていますか。 ●必要なアプリケーションソフトとドライバーをセットアップしましたか。(➪ 26〜27ページ) ●本体がマルチクレードルに正しく取り付けられていますか。(➪ 7ページ 「充電式電池」手順❷) ●マルチクレードルの[USB ON/OFF]を押して、"Net MD"と表示していますか。(➪ 26ページ)
音が途切れる パソコン画面がかたまる	●音楽再生用以外のソフトを開いていませんか。
チェックアウト中、音がでない	●チェックアウト中は、再生音が出ません。(チェックアウト終了後、再生して確認してください。)
付属のアプリケーションソフトBeatJamをセットアップできない	●BeatJamを使用できる環境ですか。(➪ BeatJam取扱説明書9ページ)

■ Net MDについて (SJ-MR270)

BeatJamセットアップ中、ソフトウェアのインストールの続行確認画面がでる	●OSの設定によって、パソコンに表示されることがあります。"続行(C)"をクリックし、セットアップを続けてください。
セットアップ完了後に、再度Net MDドライバーのインストール画面が出る	●セットアップ時に使用したパソコンのUSB端子とは別の端子に、USBケーブルを差していませんか。パソコンの画面の指示に従ってセットアップするか、セットアップ時に使用した端子にUSBケーブルを差し直してください。(Windows XP特有の現象です。)
BeatJam上で全曲消しても、MDのディスク名が残る	●マルチクレードルの[USB ON/OFF]を押して、Net MDを終了してください。もう一度、[USB ON/OFF]を押して、"Net MD"と表示させると、ディスク名も消えます。
BeatJam上で作成したMDのグループにチェックアウトできない	●曲名、グループ名などの情報が多すぎると、グループに属さないで、チェックアウトされることがあります。文字数の少ない名前にし、再度チェックアウトしてください。

■ USB オーディオについて (SJ-MR270)

USBオーディオドライバーがセットアップできない	●パソコンの画面の指示に従って操作してください。

■ その他

本体が動かない	●電池を一度取り出してみてください。
本体のふたが開かない	●録音・編集中は、ふたが開きません。 ● SJ-MR270 パソコンと接続して、"Net MD"表示中は、ふたが開きません。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ポータブルMDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

32～33ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ポータブルMDレコーダー	**お買い上げ日**	年　月　日
品番		**故障の状況**	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修 理 ご 相 談 窓 口**

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、右ページをご覧ください。

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎ (027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0903

主な仕様

●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

形　　式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式：半導体レーザー（λ＝780 nm）による非接触光学式
エラー訂正方式：アドバンスト　クロス　インターリーブ　リード
ソロモンコード（ACIRC）
圧縮/伸長方式：ATRAC/ATRAC3方式
チャンネル数：2チャンネル（ステレオ）
1チャンネル（モノラル）、モノラルは再生のみ
サンプリング周波数：44.1 kHz
サンプリングレートコンバーター：入力 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
周波数特性：20 Hz～20,000 Hz（＋0 dB ～－6 dB）
ワウ・フラッター：測定限界値以下

入力端子
OPT/LINE IN端子
入力インピーダンス：33 kΩ
入力レベル：SENS H, 178 mV/SENS L, 500 mV

MIC端子
入力インピーダンス：600 Ω
入力レベル：SENS H, 0.4 mV/SENS L, 2.5 mV

出力端子
ヘッドホン端子
負荷インピーダンス：50 Ω
出力レベル：2.8 mW＋2.8 mW
スピーカー端子（マルチクレードル, SJ-MR270）
負荷インピーダンス：8 Ω
出力レベル：0.9 W＋0.9 W

スピーカー（2個）
インピーダンス：8 Ω

電源
本体
充電式電池：DC 1.2 V（付属充電式電池）
乾電池：DC 1.5 V（単3形アルカリ乾電池×1個）

SJ-MR270
ACアダプター：AC 100 V～240 V 50/60 Hz
入力容量：12 VA（100 V時）/17 VA（240 V時）
出力：DC 4.8 V 1.0 A

SJ-MR240
ACアダプター：AC 100 V 50/60 Hz
入力容量：10 VA
出力：DC 5 V 800 mA

寸法（幅×高さ×奥行）
本体寸法：77.8×71.9×13.9 mm
最大外形寸法：79.6×74.8×19.4 mm（JEITA）

質量：SJ-MR270 約113 g/約86 g（充電式電池含む/含まず）
：SJ-MR240 約112 g/約85 g（充電式電池含む/含まず）

電池持続時間（JEITA, 水平に置いて連続録音/再生したとき）

使用電池	ステレオ（通常）	LP2ステレオ（2倍長時間）	LP4ステレオ（4倍長時間）
付属充電式電池（フル充電時）	約13/25時間	約17/34時間	約21/38時間
単3形アルカリ乾電池	約9/42時間	約16/59時間	約21/70時間
上記併用時	約33/76時間	約46/94時間	約55/130時間

フル充電時間：約3.5時間
● 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

マルチクレードル/バッテリーチャージャーに本体を接続していない時の消費電力……約0.1 W

English control guide （英語の簡易操作説明）

Power Supply

Refer to the illustrations on page 7.

The rechargeable battery

❶ **Put the battery into the unit.**

❷ **Install the unit to the multi cradle/ battery charger, and connect the AC adaptor to the multi cradle/battery charger.**

Recharging begins.

"CHARGE" appears on the display while recharging and "CHARGE" disappears when the battery is fully charged. It takes approximately 3.5 hours to recharge the supplied battery.

Insert an MD

Refer to the illustration on page 8.

❶ **Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow to open the lid.**

❷ **Slide the MD between the guides so it clicks into place.**

❸ **Now close the lid.**

Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow to remove the disc. The disc springs out from the unit.

The HOLD Function

Main unit

Preparation : After pressing [▶/❚❚], press [■, OPR OFF/ ▬ HOLD].

Press and hold [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] until "HOLD ON" displays.

■To release

Preparation : Press [▶/❚❚].
"HOLD" is displayed.

Press and hold [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] until "HOLD OFF" displays.

Remote control

Refer to the illustration on page 8.

Recording

Refer to the illustrations on pages 9 to 10.

Preparation

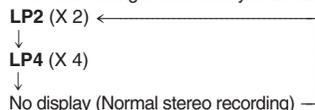
- Release HOLD.
- Connect this unit to a unit that has a digital output terminal or stereo LINE OUT terminals, or the microphone.
- Insert the rechargeable battery into the unit.
- Insert a recordable MD.

❶ **Slide [REC →, LP MODE] (main unit) to the right or press and hold [T.MARK/EQ, ▬ REC] (remote control) until the display changes.**

The unit comes on and enters the recording standby mode.

❷ **Slide again [REC →, LP MODE] (main unit) to select the recording mode.**

The mode changes each time you do this.

LP2 (X 2)
↓
LP4 (X 4)
↓
No display (Normal stereo recording)

❸ ① **Press [▶/❚❚] (main unit) or [PLAY MODE, REC PAUSE] (remote control) to start recording.**

② **Begin playback of the source or face the microphone towards the source of the sound.**

■To stop recording

Press [▶/■] (remote control) or [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] (main unit).

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can even turn off the unit by pressing again [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] (main unit) while stopped.

Playback

Refer to the illustrations on page 13.

Preparation

- Release HOLD.
- Insert an MD.
- Connect the remote control and stereo earphones, then insert the remote control's plug into the earphone jack [🎧] on the unit.

■ To listen through the speakers SJ-MR270

1. Insert a rechargeable battery into the unit.
2. Install the unit to the multi cradle.
3. Connect the AC adaptor to the multi cradle.
4. Connect the speakers to the multi cradle.

❶ **Press [▶/■] (remote control) or [▶/❚❚] (main unit) to start play.**

❷ **Move [▶/■] (remote control) toward [+] or [−], or [▶/❚❚] (main unit) up or down to adjust the volume.**

■To stop playback

Press [▶/■] (remote control) or [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] (main unit).

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can even turn off the unit by pressing again [■, OPR OFF/ ▬ HOLD] (main unit) while stopped.

Editing MDs

DIVIDE (Dividing a track into two)

❶ **Press [EDIT] during play.**

❷ **Turn the jog dial to select "DIVIDE?" and press it.**

A 4 second segment of the track is played repeatedly, beginning at the point selected.

❸ **Turn the jog dial to adjust the point you want to divide the track and press it.**

Adjustments can be made approximately 8 seconds (16 seconds if the track is monaural or recorded with LP2, 32 seconds if the track is recorded with LP4) either side of the original point. (–128 to +127)

❹ **Press [EDIT].**

COMBINE (Combining 2 tracks)

❶ **Press [EDIT] while playing the latter of the two tracks you want to combine or while stopped.**

❷ **Turn the jog dial to select "COMBINE?" and press it.**

While playing, the last 8 seconds of the former track and the first 8 seconds of the latter track play repeatedly.

❸ **When performed while stopped Turn the jog dial to select the two tracks to combine.**

❹ **Press [EDIT].**

Editing MDs

MOVE (Moving tracks)

Rearrange the order of the tracks.

1. **Press [EDIT].**
2. **Turn the jog dial to select “MOVE?” and press it.**
3. **When performed while stopped**
   Turn the jog dial to select the track to be moved and press it.
4. **Turn the jog dial again to select the new position and press it.**
5. **Press [EDIT].**

TRACK ERASE (Erasing one track)

1. **Press [EDIT].**
2. **Turn the jog dial to select “TRACK ERASE?” and press it.**
3. **When performed while stopped**
   Turn the jog dial to select the track you want to delete and press it.
4. **Press [EDIT].**

ALL ERASE (Erasing all tracks)

1. **Press [EDIT] while stopped.**
2. **Turn the jog dial to select “ALL ERASE?” and press it.**
3. **Press [EDIT].**
   “BLANK DISC” appears on the display.

Titling MDs

Titling discs and tracks

Discs and tracks recorded with standard stereo recording mode can have titles with up to 100 characters. Tracks recorded with LP2 or LP4 can have titles with up to 97 characters.

1. **Press [EDIT] while stopped.**
   “TITLE?” appears on the display.
2. **Press the jog dial.**
   “DISC TITLE?” appears on the display.
3. Ⓐ ***When titling a disc***
   Press the jog dial again.
   The text editing mode is entered.
   Ⓑ ***When titling a track***
   Turn the jog dial to select the track you want to title and press it.
   The text editing mode is entered.
4. **Enter the title.** (See below.)
5. **Press [EDIT].**

■To title tracks while playing

After pressing [EDIT], do the steps 2 (“TRACK TITLE?” appears), 4 and 5.

Entering text

1. **Press [▶/❙❙] (main unit) to select the type of character.**
   The type changes each time the button is pressed.
   Katakana → English capitals
   ↑ ↓
   Numerals and symbols ← English lower case
2. **Turn the jog dial to move the cursor over the character you want to enter and press it to enter the character.**

■Erasing a character

1. **Move [▶/❙❙] up or down to move the cursor over the character you want to erase.**
2. **Press [MODE, DELETE].**

■Correcting titles

1. **Move [▶/❙❙] up or down to move the cursor over the character you want to correct.**
2. **Enter the text.**

■Inserting an extra character

1. **Move [▶/❙❙] up or down to move the cursor over the place you want the character to go.**
2. **Press [EQ/REC SENS].**
3. **Enter the text.**

Using in combination with a computer SJ-MR270

Net MD

By connecting the unit to a computer via a USB terminal, it is possible to download music data stored in your computer from CDs and internet music sites to the unit’s MD.

USB Audio

You can enjoy audio data from your computer using this unit through the speakers or stereo earphones.

Installation

1. **Insert the included CD-ROM into the CD-ROM drive.**
   BeatJam and Net MD USB drivers preinstall.
2. **Connection**
   Refer to the illustration on page 26.
3. **Press [USB ON/OFF] (multi cradle) while stopped or the power is off.**
   “Net MD” appears in the unit display.
   The first time you connect to a computer, it automatically scans the unit.
   By following the on-screen instructions the USB audio driver (included with the computer’s OS) is installed.
4. **Double Check**

- **BeatJam**
  The BeatJam and BeatJam User Registration icons will be displayed on the computer desktop.
- **Net MD USB driver, USB audio driver**
  The items contained in the on-screen list may vary according to the computer environment you are using.
  Ex. When using Windows XP
  Confirm the arrows. (See page 27.)

Recording onto MD (Checkout) SJ-MR270

Preparation : Perform steps 2 and 3 on the left.

1. **Activate BeatJam on the computer and record (checkout) the songs you want to record to MD.**
   Checking out is finished when the “UTOC Writing” goes out.
2. **Press [USB ON/OFF].**
   Net MD will stand down.

Returning data to the computer (Checkin) SJ-MR270

Once you have returned a track you checked out to the source computer, you may check it out and use it again on other media.

Preparation : Perform steps 2 (inserting an MD with a checked out track) and 3 on the left.

1. **Activate BeatJam on the computer and return (check-in) the songs.**
   Checking in is finished when the “UTOC Writing” goes out.
2. **Press [USB ON/OFF].**
   Net MD will stand down.

Listening to audio from a computer (USB Audio) SJ-MR270

Preparation : Perform steps 2 (connecting the speakers to the multi cradle or stereo earphones to the main unit. MD is not necessary) and 3 on the left.

(Ex. Windows XP)

1. **From your PC, click on [スタート] and select [サウンドとオーディオデバイス] from the [コントロールパネル].**
2. **Click on [オーディオ].**
3. **Click on [既定のデバイス] of [音の再生] and select [USB Audio] from the list.**

さくいん

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

SJ-MR270

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご添付がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SJ-MR270/SJ-MR240
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　**様** 電　話（　）　ー
※販売店	住所・氏名 電話（　）　ー

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。